

パラナ治安情報（パラナ州フォス・ド・イグアス市における観光客強盗殺人事件）

12日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、ブラジル及びパラグアイ国の国境において観光客強盗殺人事件が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

1 11日朝、パラナ州フォス・ド・イグアス市とパラグアイ国を結ぶ橋（友情の橋）においてブラジル人観光客（26才：女）が強盗犯（3人）に腹部を撃たれ、近くにいた観光客も足に怪我を負った。被害者と一緒にいた交際相手（男）によると、強盗犯（男1人）が同人と被害者の横を走って通り過ぎた後、振り返り、2メートルの距離から発砲した。強盗犯は、被害者が倒れた後、交際相手が持っていた被害者のカバンを渡すように脅迫した。交際相手は、強盗犯に4千リアル渡し、犯人及び共犯者2人は、歩行者用道路と車道の間にあるフェンスを乗り越え、パラグアイ国ナンバープレートがついたバイクタクシーに乗ってブラジル方面に逃走した。

2 病院に搬送された被害者は、16時頃、フォス・ド・イグアス市内の病院で出血多量のため死亡した。

3 パラナ州文民警察は、フォス・ド・イグアス市警備に協力を依頼し、友情の橋付近の防犯カメラの映像を検証するとともに、目撃者がメモしたパラグアイのバイクタクシーのナンバープレートをパラグアイ国の警察に提供する。